

レールの撤去範囲を協議

町は、鉄道跡地の有効利用と代替交通機関であるバスの持続的な運行方策などについて協議する「ふるさと銀河線跡地利用等検討協議会」を設置しました。この協議会は、町内会・実践会長のほか、町議会や農業、商工業、教育関係団体などの代表者で構成。会長は町長、傍聴者はオブザーバーとして発言できます。



■第1回協議会（8月31日公民館）

委員38人、オブザーバー13人が出席。主にレールなどの撤去範囲と跡地利用について意見交換を行いました。

◆レールなどの撤去範囲について

意見交換後に採決した結果、「すべて撤去すべき」が17人、「一部残すべき」が14人、「すべて残すべき」という方はいませんでした。結論を保留した方もいることから次回協議会で再協議することになりました。

◆跡地の利用方法について

町民の皆さんからいただいた提案を基

に意見交換しましたが「全区間」を前提にした利用には賛成できないという意見と、農地隣接地などは売却を基本に進めるべきとの意見が多く出されました。

■第2回協議会（9月21日公民館）

委員29人、オブザーバー11人が出席。第1回協議会に引き続きテーマを中心に意見交換を行いました。

◆レールなどの撤去範囲について

意見交換後に採決した結果、「すべて撤去すべき」が20人、「ホームの一部を残す」と「駅横の連絡道分を残す」が各3人で、協議会としては、すべて撤去することで見集約しました。

◆跡地の利用方法について

農地隣接地などは売却を基本に意向調査を行うこととし、駅構内については時間的な余裕があることから農閑期にあらためて協議を行い、跡地利用の方向性をまとめることにしました。

◆バスの通学定期運賃補助について

現在行われているバスの通学定期差額補助は、平成20年度で終了となるため、その後、町独自の通学定期運賃補助を行うこととの賛否について協議を行い、補助は必要との意見で一致しました。



■今回の協議結果を受け、町は、枕木、橋梁の撤去準備を進めています。

■問合せ 企画財政課（☎ 47-2115 役場2階 窓口12番）

提案項目	提案内容	課題など
B. 訓子府駅構内		
1. 南北横断道路の整備	①鉄北地域の住宅が増加しているため、町道相内線と道道北見白糠線との間に市街地につながる横断道路の新設が必要。跡地利用の前提条件とすべき（例：町道西1丁目線の延長）	
2. 公園化に関するもの	①桜並木（西23号～26号間に植樹。駅構内の一部に銀河農園を造成。社宅跡に消防庁舎を建設し、北側用地を駐車場兼訓練スペースとして利用）、駅側ホームを屋外ステージとして活用 ②家庭の不要樹木・庭木などの寄贈を受け整備する散策公園 ③多年草の花通り（散策路）とし、管理は地域やボランティアで行う ④跡地の一部にラズベリーを植栽。「銀河ラズベリージャム」を製造し、訓子府の特産品とする	●住民参加による費用圧縮が必要 ※消防庁舎の建設は、財源の確保が難しい ●起業希望者があり、他の用途との調整ができれば可能
3. 売却	①格安住宅地として売却。残地は放置 ②隣接所有者などへ売却	●構内全体の利用計画や道路整備計画との調整が必要
4. その他	①相内線～道道間は、町有地としてほしい ②車止め部分のレールを切り取り、駅舎内に展示してほしい	
C. 東町・若富区域		
1. 売却	①隣接所有者などへ売却	●全地まとまれば可能
2. 果樹園	①跡地の一部にラズベリーを植栽。「銀河ラズベリージャム」を製造し、訓子府の特産品とする ②桜並木、季節感のある樹木の植栽	●起業希望者があり、他の用途との調整ができれば可能 ●住民参加による費用圧縮が必要
D. 日出市街		
1. 森林公園	①植樹して散策路を設ける。住宅地の景観もよくなる	●住民参加による費用圧縮が必要
2. 売却	①隣接地所有者などに売却	●他の用途との調整が必要
3. その他	①日出町内会や隣接企業など、地域に任せてはどうか	
E. 農地隣接地		
1. 売却	①90年以上にわたり雑草繁茂や害虫発生などにより農作業に不便を感じてきた。農地への整備費を考慮した価格で即刻払い下げ願いたい	●号線単位でまとまれば可能
2. 果樹園	②跡地の一部にラズベリーを植栽。「銀河ラズベリージャム」を製造し、訓子府の特産品とする	●起業希望者があり、他の用途との調整ができれば可能

町民の皆さんから寄せられた跡地利用などの提案内容

提案項目	提案内容	課題など
A. 全区間		
1. サイクリングロードなど	①サイクリングロード、マラソン・ウォーキングコース、クロスカントリーなどのコースとして整備。場所によっては桜並木などがあれば楽しい ②区間銀河ロードオーナー制の導入（1口1万円） ◆サイクリングロードなどの整備は、常呂川堤防を利用できるので反対	●莫大な整備費が必要 ●号線ごとに道路が横断しているため、安全対策が必要
2. レールのまま利用	①朝もぎ列車（列車を早朝運行し、各停留所近くの農家で野菜や果物の朝もぎ体験を行う。区間は日出～境野～日出） ②訓子府～境野間で地場食材を使ったレストラン列車の運行 ③1区間だけのトロッコ運行 ④線路の上を歩くロードとして残す	●レールの保守管理に膨大な費用が必要 ●踏切の復元工事が必要 ●列車の調達 ●施設の維持管理
3. 並木や果樹の植栽など	①桜並木 ②グリーンロード（訓子府～日出間を区間ごとに桜やナナカマド・ライラックなど季節感のある樹木を植栽する。町外転出者からの寄付金で整備し、町民で管理する） ③多年草の花通り（散策路）とし、管理は地域やボランティアで行う ④次代に継承する桜ロード（サイクリングロードを兼ねた遊歩道として整備。管理は商工会とし、利用者負担も検討） ⑤跡地の一部にラズベリーを植栽。「銀河ラズベリージャム」を製造し、訓子府の特産品とする ⑥1口1万円ですべて果樹園として貸付 ⑦体験農園 ⑧句碑ロード	●長大な用地や樹木の管理 ●起業希望者がいれば可能 ●区域限定で、適正管理ができる利用希望者があり、他の用途との調整ができれば可能
4. 救急車両などの専用道路	①救急車両や通学バスの専用道路	●莫大な整備費が必要
5. 売却	①隣接地所有者などへの売却	●号線単位でまとまれば可能